



### もがみ地産地消エネルギーが ワークショップを開催

11月26日、みつざわ未来創造館らいで、もがみ地産地消エネルギー（通称：もっちい〜）が主催する「間伐材を使った手作り時計ワークショップ」が開催されました。

当日は、幼稚園児から大人まで25名が時計作りに取り組みました。時計の文字板には町内のスギの間伐材が使用され、完成した時計はどれもあたたかみのあるものに仕上がっていました。

※この事業は、山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業を活用しました。

### 大堀小学校児童がサロン活動で交流

11月30日、大堀公民館で大堀小学校6年生児童20名が、地域の方と100歳体操やサロン活動を通して交流しました。これは、「総合的な学習の時間」の中で福祉や地域のことを学んでいる子どもたちの、地域の活動をもっと知りたい、見てみたいという思いから実現したものです。サロン形式の話合いでは、地域の方が作ったおいしい漬物を食べながら、お互いの取り組みの情報交換を行うなど、充実した一日となりました。

福祉教育のことは、社会福祉協議会まで43-3180



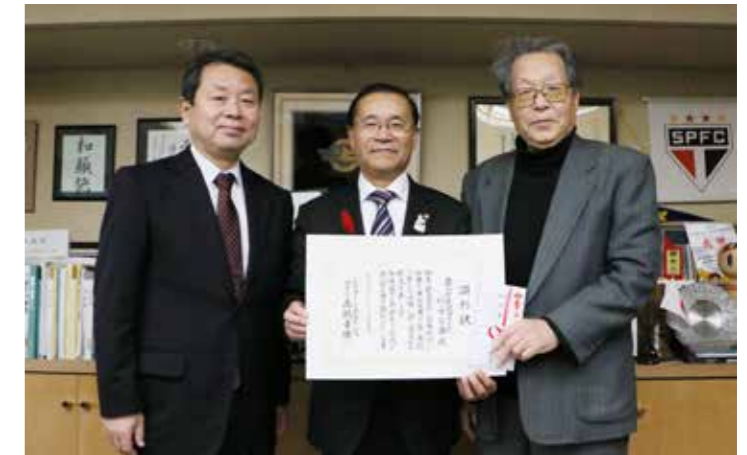
### 大正大学に祈願塔寄贈

大正大学は、地域創生学部の1年生が最上町で地域実習を1ヵ月以上に亘って行うなど、2年前から交流のある大学です。このたび、大正大学の仏教文化施設「すがも鴨台観音堂」の前に新たなシンボルとなる祈願塔が建立されました。材料には、長さ7メートルにも及ぶ最上町の杉が使用されています。これは下山製材さんから寄贈されたもので、11月17日には大正大学からの感謝状が手渡されました。観音堂頂上階の本尊と結ばれた五色の糸に触れると諸願が成就すると言われており、最上町との絆もさらに深まることが期待されます。



### 助成団体に「最上町歴史ロマンをほつる会」

一般財団法人「丸高歴史文化財団」（酒田市）では、県内の地域文化の発展向上を願い、例年歴史に関する調査・研究等に取り組んでいる個人、もしくは団体に対して資金援助を行なっています。平成29年度選考会では町からの推薦もあり、本町の「最上町歴史ロマンをほつる会」が助成団体の一つに決定し、12月11日、高橋町長に報告を行いました。この団体は、平成26年に発足後、定期的に各集落へ出向き学習会を開催しています。新たな発見を掘り起こし、地域に活力を与えるという団体理念に基づいた活動実績が評価され選ばれました。



### 大沼 たま井さん(若宮)が数えて100歳 おめでとうございます！

11月16日、大沼 たま井さんが数えて100歳を迎え、入居している介護老人保健施設やすらぎで、高橋町長よりお祝いの品が贈られました。家族の方に長生きの秘訣を聞くと、「マイペースでよくよしない人です。やすらぎに来てからも、特に好き嫌いなくなんでも食べているようです」と話してくれました。高橋町長からは、「100歳おめでとうございます。これからも元気で長生きしてください」とお祝いの言葉が贈られました。



### ランクアップセミナーでネイルケア講座

12月10日、中央公民館みどりホールを会場に「ネイルケア講座」が開催されました。今回の講座は最上町ハッピーサポーター推進協議会の主催で、自分磨きを通じて参加者間の交流促進を目的に行う「ランクアップセミナー」(全4回)の初回イベントです。仙台市でネイルサロンを営む中村 瞳さんを講師に迎えて行われた講座には、10名ほどの参加者が訪れ、講座の終了後には、きれいになった爪を互いに見せ合う姿が見られました。



### 冬の交通安全県民運動期間中に 街頭啓発活動を実施

12月8日、町内スーパー・薬局前などで、冬の交通安全県民運動に伴う「街頭啓発活動」が実施されました。この運動では、交通安全協会最上支部、最上町交通安全母の会、町内駐在所の警察官などが「雪道の交通事故防止」や「夕暮れ時の早めのライトの点灯」といった交通安全の声掛けと共に、啓発用品の配布を実施しました。



### ワイルドエドベンチャースクールで 山形大学生と体験活動

11月25日、大場満郎冒険学校においてワイルドエドベンチャースクールが開催され、町内小学生17名・山形大学生8名が参加し、巻き寿司・お餅作り、切り絵体験が行われました。

巻き寿司作りではスタッフで元板前の結城茂さん(満沢)、切り絵体験では奥山栄進さん(本城)・須貝秀五郎さん(本城)が講師となり活動しました。児童たちは、普段できない体験を大学生のお兄さんお姉さんと一緒に笑顔で楽しみ、貴重な体験のひとつとなりました。